

令和5年度 信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会

令和5年度 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会

議事概要

開催日時：令和6年3月19日（火）15：00～16：30

会議方法：WEB 会議

まえがき

令和5年度 信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会、令和5年度 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会は、Web 会議システムにより開催しました。

本協議会で協議する内容について、事務局等からの説明及び各構成機関から意見等は以下のとおりです。

議事（1）信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会 規約の改定について

【議事内容】

事務局より「信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会 規約」において、「地方共同法人 日本下水道事業団 関東・北陸総合事務所」をオブザーバーに加えること及び誤謬訂正に伴う変更がある旨を説明しました。

その後、地方共同法人 日本下水道事業団 関東・北陸総合事務所 田嶋所長より、加入にあたってのご挨拶及び団体の概要を説明いただきました。

【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

議事（2）「新川等二級河川周辺地域における流域治水協議会（仮称）」設立に伴う会議の運営方法の変更について

【議事内容】

事務局より新潟県が「新川等二級河川周辺地域における流域治水協議会（仮称）」を設立するにあたり、次年度以降、「信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会」及び「水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会」は同協議会と同時開催とする旨を説明しました。

【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

議事（３）「流域治水プロジェクト２．０」について

【議事内容】

気候変動をふまえ「流域治水プロジェクト２．０」を策定し、流域対策のより一層の充実を図っていくこと及び取りまとめ内容を説明しました。

【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

議事（４）「流域治水の自分事化に向けた取組の推進」について

【議事内容】

事務局より、住民や企業などが自ら水害リスクを認識し、自分事として捉え、主体的に行動してもらうために信濃川下流域で行う取組について、取りまとめ内容及びロードマップを説明しました。

【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

議事（５）取組状況フォローアップについて

【議事内容】

事務局より、「減災のための取組項目」及び「信濃川水系流域治水プロジェクト（信濃川下流）【個別施策】」の各機関における取組状況を取りまとめた「取組状況フォローアップ」について様式の見方等について説明しました。

【意見・質問】

説明内容について出席者から意見、質問はありませんでした。

議事（６）流域治水プロジェクトに基づく対策の事例について（各機関）

【議事内容】

各機関より、以下の通り事例の紹介がありました。

（新潟市）

要配慮者利用施設の避難確保計画の作成に向けた講習会について紹介。

（長岡市）

近隣市や民間企業との協定締結による広域避難先の確保、立地適正化計画の作成（防災指針の策定）について紹介。

（三条市）

浸水検知センサーと危機管理型水位計を併用した取組について紹介。

(加茂市)

総合防災訓練の実施について紹介。

(見附市)

緊急情報の配信力強化の取組について紹介。

(燕市)

児童生徒・一般市民に対する、水防災等に関する啓蒙活動について紹介。

(五泉市)

マイ・タイムライン（わたしの避難計画）の普及について紹介。

(弥彦村)

防災教育や防災知識の普及に関する取組について紹介。

(新潟県防災局)

新潟県防災リーダーの養成について紹介。

(新潟県農林水産部)

新潟県内の信濃川流域における治山対策・森林整備の取組について紹介。

(新潟県農地部)

「田んぼダム」の整備・活用、農業用排水施設の更新整備・耐水化について紹介。

(新潟県土木部)

洪水を河川内で安全に流す対策、砂防関係施設の整備、水害リスク情報の空白域解消（浸水想定区域）、砂防関係のソフト対策（住民への情報伝達手段の強化）について紹介。

(中越森林管理署)

信濃川下流域上流部における森林整備・治山対策・保安林の管理について紹介。

(森林整備センター)

水源林造成事業による森林の整備・保全について紹介。

(新潟地方気象台)

気象情報の充実、予測精度の向上(線状降水帯の予測精度向上等に向けた取り組み強化)について紹介。

(信濃川下流河川事務所)

水害リスク情報の充実(水害リスクマップの整備)について紹介。

【意見・質問】

(見附市 稲田市長)

「水害リスク情報の充実」について、信濃川下流河川事務所より説明された水害リスクマップ及び多段階の浸水想定図は国管理河川の外水氾濫及び内水氾濫を対象としているとのことだが、県管理河川については水害リスクマップや多段階の浸水想定図についての取組があるのか。

【回答】

(新潟県土木部 酒井河川管理課長)

新潟県では現在、浸水想定区域図が無い中小河川において、令和7年度までを目途に水害リスク情報の空白域解消の取組を進めているところであり、市町村へこれらの情報提供を行うことで、洪水ハザードマップ作成等の支援に努めていきたいと考えている。そのため、まずは浸水想定区域図がない中小河川について水害リスク情報の空白域解消の取組を進め、水害リスクマップ等については、状況を見ながら検討していきたい。

【意見・質問】

(見附市 稲田市長)

県管理河川における、内水氾濫を想定した水害リスク情報の検討状況を伺いたい。

【回答】

(新潟県土木部 酒井河川管理課長)

内水氾濫に関する取組は都市局において進めているところだが、実際の工程については伺っていないため、後ほど都市局に確認の上、情報提供したい。

(事務局：信濃川下流河川事務所)

想定最大規模の浸水想定区域図を作成した際に、対象区域内のデータは当事務所でもある程度入手済みであるため、見附市長の質問にあった内水氾濫の情報についてはこちらでも整理できるかもしれない。ただし、どの情報が提供できるかについては新潟県と相談しつつお示ししていきたい。

(見附市 稲田市長)

現在見附市で内水ハザードマップの作成に取り組んでいるわけではないが、国や県で整理されている情報があれば大変有難いと考えている。

— 了 —